

三宅禎子教授のご退職に寄せて

高等教育推進センター長職務代理 猪股俊光

岩手県立大学高等教育推進センター国際教育研究部所属の三宅禎子教授は、今年度末をもって定年退職されることとなりました。三宅先生は、1998年岩手県立大学開学時に社会福祉学部講師として就任されて以来、本学の共通教育および基盤教育充実・発展、さらには、学生の海外留学の支援や高等教育推進センターの運営にご尽力されてきました。この長年にわたるご功績に対して心より感謝と敬意を表す次第です。

三宅先生は、筑波大学第三学群社会工学類をご卒業後、京都外国語大学外国語学研究科修士課程を修了された後、琉球大学や沖縄国際大学、東北大学で非常勤講師を務められ、1998年に本学に赴任されました。社会福祉学部助教授、共通教育センター助教授、高等教育推進センター准教授を経て、2014年より同センター教授に昇任されました。本センターの国際教育研究部の教員として、スペイン語を中心として基盤教育及び副専攻「国際教養教育プログラム」での教育や学生の海外留学支援に尽力されました。とりわけ、学生の海外研修については、短期のスペイン語・スペイン文化コースや長期留学を希望する学生に対して、きめ細かい個別指導・助言に力をつくされたことで、スペイン、メキシコ、アメリカなどへの学生の渡航が実現されております。渡航した学生たちの留学体験談は、三宅先生が開設されているホームページ上で紹介されております。このような熱心な取り組みによって、本学学生の語学力向上や異文化体験による国際感覚の熟成と学習意欲の向上に多大な貢献を果たされております。

学内においては、開学以来、全学・学部・センターの各種委員会の委員長や委員としてご尽力され、学外においては、ラテンアメリカ・カリブ地域研究や外国語教授法などに関する研究論文を数多く発表されております。

このように本学にとって、貴重な人材である三宅先生には、これからも本学の基盤教育の充実・発展に寄与していただきたいところですが、ご退職の年を迎えることとなり、大変残念なことであります。これまで25年にわたる三宅先生のご功績に深い敬意と感謝を申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げて贈る言葉とさせていただきます。三宅先生、長きにわたり本当にありがとうございました。